

授業科目名 <英訳>	西南アジア史学(特殊講義) West Asian History (Special Lectures)				担当者所属・ 職名・氏名	人文科学研究所 教授 稲葉 穰					
配当 学年	1回生以上	単位数	2	開講年度・ 開講期	2017・ 前期	曜時限	水4	授業 形態	特殊講義	使用 言語	日本語
題目	イスラームと仏教 その形而下的接触										
【授業の概要・目的】											
<p>イスラームは出現当初より、基礎としたあるいは遭遇した様々な要素をそのうちに取り入れ、宗教として思想として発展してきたといえる。仏教についても、初期のスーフイズムにおけるその影響がかつて盛んに議論されたことがある。しかし本授業では、そのような思想的交流ではなく、広く仏教に関する遺跡やモノについてのイスラーム側の位置づけ、説明、解釈のあり方の変容を考えることを目的とする。それは思想としてのイスラームのあり方のダイナミズムをも浮き彫りにするからである。</p>											
【到達目標】											
<p>様々な機会にイスラームを排他的と見なす報道や言説に接することが多くなったが、それが、イスラーム自体の長い歴史の中で、極めて特異的に生じている事柄であることに注意を向け、人間の営みとしての信仰のダイナミックなあり方を理解することを目的とする。特に、多くのムスリムにとってあまりなじみがなかった菩薩がどのようにイスラーム世界に取り入れられ、どんな役割を割り振られたかを探ることで、このことの実例とする。</p>											
【授業計画と内容】											
<p>第1回 イン트로ダクション 第2～4回 イスラーム世界に見える仏教の爪痕 第5～12回 イスラームにおける菩薩と仏陀（P. Crone, Buddhism as Ancient Iranian Paganismを題材に） 第13～14回 モンゴル時代以降の仏教とイスラーム 第15回 まとめ</p>											
【履修要件】											
特になし											
【成績評価の方法・観点及び達成度】											
<p>平常点の評価（50％）と期末レポート(50%)で評価する。講義内容に関連する文献を授業中に会読し、その内容を平常点として加味する。期末レポートについては到達目標の達成度に応じて採点する。</p>											
【教科書】											
授業中に指示する											
【参考書等】											
<p>（参考書） 授業中に紹介する</p>											
----- 西南アジア史学(特殊講義)(2)へ続く -----											

西南アジア史学(特殊講義)(2)

[授業外学習(予習・復習)等]

授業中に別途指示する

(その他(オフィスアワー等))

オフィスアワーの詳細については、KULASISで確認してください。